

わが国における認知症およびMCI(軽度認知障害)の患者数と有病率の将来推計

	認知症		MCI	
	患者数(万人)	有病率(%)	患者数(万人)	有病率(%)
2022年	443.2	12.3	558.5	15.5
2025年	471.6	12.9	564.3	15.4
2050年	586.6	15.1	631.2	16.2
2060年	645.1	17.7	632.2	17.4

令和5年度老人保健健康増進等事業
「認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究」
九州大学大学院医学研究院 衛生・公衆衛生学分野 教授 二宮 利治

M C I は認知症医療の対象ではなかった

(認知症疾患診療ガイドライン2017)



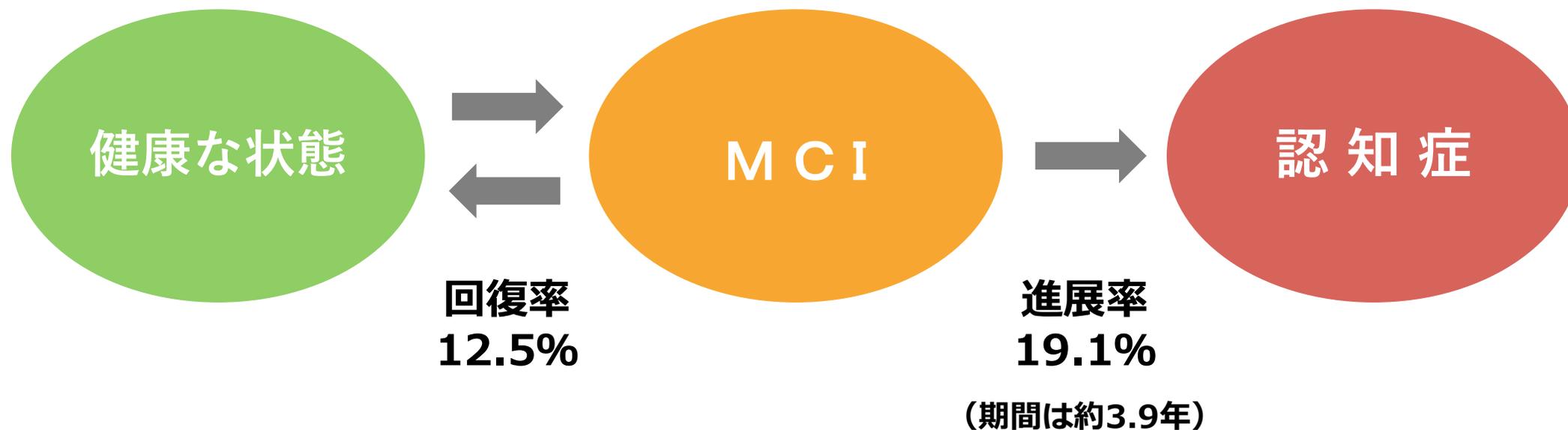
抗A β 抗体薬の出現により診療報酬が付く

(2023年)



M C I が医療の対象になる

長期的予後研究はほとんどない



< MCI者6,651名を15年間追跡した後向きコホート研究による >

(Qin Y, Han H, Li Y, Cui J, et al
Neurology, 100(3) (2023))

超早期の診断が可能となる

(PET、血液バイオマーカー等による)



**抗A β 抗体薬の適応の人・適応外になった人
長期に及ぶ本人・家族への心のケアをどうするのか？**



診断後支援の重要性

精神科医の重要な役割

- 医療の適応となったMCI（介護保険ではない）の本人・家族への支援
- 「新しい認知症観」に基づく医療の支援
診療の一環としてのMCIの人の「居場所づくり」に取り組む
（多職種による診断後支援チーム）
- グループ療法等
「空白の期間」の解消を目指す
- 認知症疾患医療センターの新しい役割とさらなる国民への啓発